

# プロジェクト報告書

団体名 特定非営利活動法人地域生活支援ネットワークサロン

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

### 1. プロジェクト名

職員の資質向上の為の現場研修と真如苑助成事業北海道自立援助ホーム困りごとワークショップの開催

### 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

当自立援助ホーム職員が資質向上の為、他自立援助ホームで現場研修を行い情報交換をする。北海道内の自立援助ホーム職員が集まり、普段のリアルな困りごとや悩み等、話し合い、普段の業務を振り返る場を持つ、又、北海道内の児童相談所、他関係機関にも参加を呼びかけ、話し合う機会やニーズとのマッチング、現状報告の場を定期的に持つきっかけ作りを行う。(次年度からの定期開催に繋げる)

### 3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

当自立援助ホーム職員が資質向上の為、他自立援助ホームで現場研修を行い情報交換をする。北海道内の自立援助ホーム職員が釧路に集まり、当事者団体の普段のリアルな困りごとや悩み等、話し合い、普段の業務を振り返る場を持つ、又、北海道内の児童相談所、他関係機関にも参加を呼びかけ、話し合う機会やニーズとのマッチング、現状報告の場を定期的に持つきっかけ作りを行う。

### 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

現場研修においては、自立援助ホームで関わるスタッフ全員が、道央圏内の他自立援助ホームに見学実習・情報共有を行いました。研修前には事前に研修目的と目標を設定した中で行い、終了後にはホーム長、法人事務局員を交え、報告会並びに振り返りを行い、現場での支援に繋げることができた。

困りごとワークショップ(若者の自立を考えるフォーム)では、道内全域の児童に関わる施設に周知を行い、社会的養護の当事者による講演や釧路で実際に支援を受けている方の話に耳を傾け、自立援助ホームに入居している児童への支援の質について考える機会となった。

### 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

現場研修では、普段ホームで解決することが難しかったり、ホーム内のミーティングでは言いにくい事でも、比較的話すことができた上で、客観的な意見やアイデアをもらえたりとスタッフ、一人、一人のモチベーションに繋がった。又、ホーム以外での相談先が増える等、普段外と繋がる事の少ないスタッフがネットワークをもつ機会となった。

何より、今年度のカムイの退職者がいないと言う事で、相談できる相手が増えたと皆が話す事が最大の効果である。困りごとワークショップでは、道内の自立援助ホームのスタッフや各関係機関の方が集まり、当事者の声に耳を傾けた、普段当事者を中心としてワークショップを行う事がなかったので、支援者にとっては、今の支援の質について重く受け止め、問い直すきっかけとなった。

### 6. 参考資料

ほんとうの  
若者の  
自立を考えるフォーラム

多様な背景の子ども・若者の実態を学ぼう





